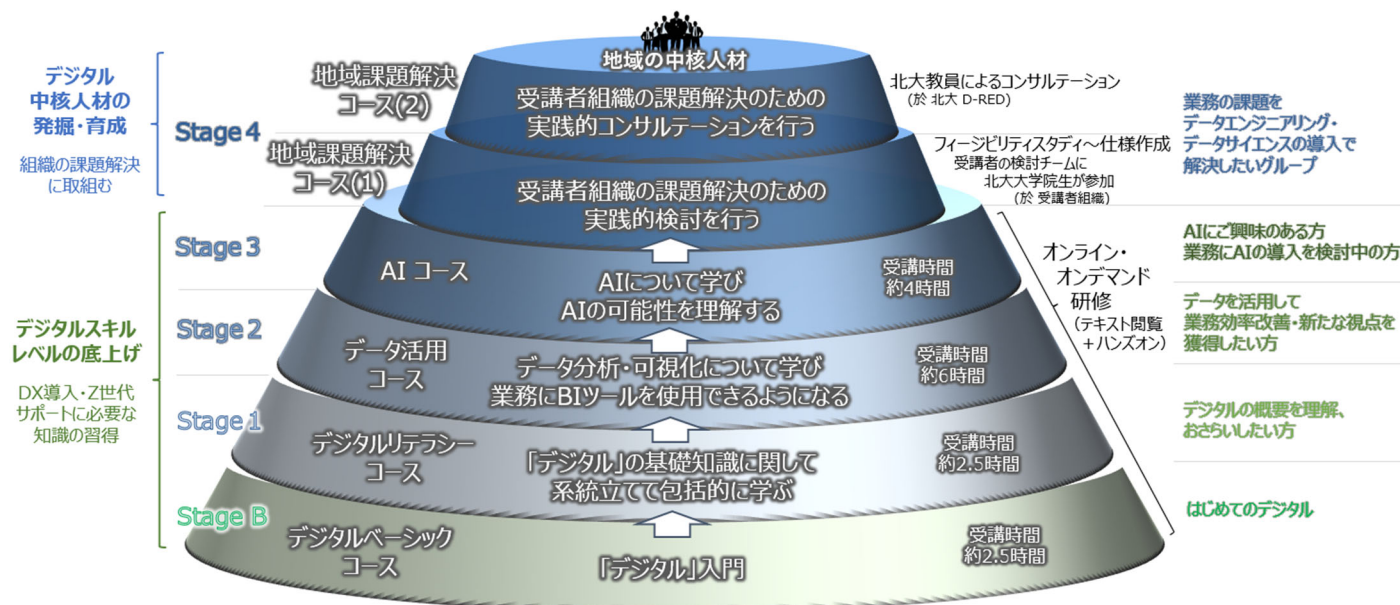


社会人向けデジタルリスキングプログラム（DREP） をアップグレード

～地域における「人材全体のデジタルスキルの底上げ」と「デジタル中核人材の育成」を目指す～

北海道大学デジタルリスキングプログラム（DREP）は、「社会人向けデジタルリテラシー研修」です

「デジタルスキルレベルの底上げ」（オンライン・オンデマンド研修）と、「デジタル中核人材の発掘・育成」の2階建て構造です



DREP 研修メニュー概要

【概要】

北海道大学総合イノベーション創発機構データ駆動型融合研究創発拠点（D-RED/拠点長 長谷山美紀）は、地域における「人材全体のデジタルスキルの底上げ」と「デジタル中核人材の育成」を目指して、「北海道大学デジタルリスキングプログラム（DREP）」を開発、2024年10月1日より北海道の企業・団体を中心に広く提供しています。受講生の皆様からの多くのフィードバックを受けて、2025年10月8日よりアップグレード版の提供を開始いたします。

【背景と経緯】

日本では少子高齢化社会がもたらす労働力減少が間近に迫っており、デジタル技術の導入・活用による業務の効率化・新しいモデルの導入は待ったなしの状況となりつつあり、デジタル技術の導入・活用により職場を変えていくためには、従業員・職員の「デジタルに関する理解」が欠かせません。また、これから職場の戦力となるZ世代・アルファ世代（デジタルネイティブ）がその“デジタル力”を存分に発揮するためには、管理職や先輩社員・職員による「デジタルに関する理解」と協力、若い世代との連携が求められます。

このような背景のなか、北海道大学では、内閣府が推進する「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期」の課題の一つである「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」において、「北海道における産業活性化および雇用創出に繋がる社会人の学び直しのための基盤の構築と実証」を担当しています。具体的には、地域における「人材全体のデジタルスキルの底上げ」と「デジタル中核人材の発掘・育成」を目的に社会人向けデジタルリスティングプログラム「DREP」を開発し、2024年10月1日より北海道を中心に提供を開始しました。

DREPは、職場における「デジタルに関する理解」の醸成即ち「デジタルスキルの底上げ」を目指して開発された「Society5.0時代の読み書きそろばん」を学ぶオンライン研修プログラムです。

加えて、オフライン研修を通して受講者組織の課題解決をサポートすることにより「デジタル中核人材の発掘・育成」を実現します。

DREPにおいては、これまで 113の企業・団体が北海道大学と協定を締結、同企業・団体の 4,582名の社員・職員（道内で日常的にPCを使用して業務を行っている40～65歳の1.1%に相当）がDREPを受講し、8,488以上のコースを修了しています。（図1）

これらの受講生にアンケート調査を行った結果（2024年10月～2025年9月・回答数8,488）、およそ80%の受講生がプログラムの内容に「満足」、およそ85%の受講生が「新しい知見を得た」と回答しています。一方で、プログラムの難易度については、90%の受講生が「難しい」と回答したことなどから、より基礎的なプログラムへのニーズがあることが明らかになりました。（図2）

受講生から寄せられた多くのフィードバックをベースにDREPを改善し、2025年10月8日よりアップグレード版をDREP Phase3として提供することとなりました。

【DREP Phase3の内容】

DREPでは、これまで4Stage/5コースの研修メニューを提供してきましたが、アップグレード版（Phase3）では新たにデジタルベーシックコース（Stage B）を新設し、5Stage/6コースの研修メニューを提供します。

<デジタルスキルの底上げ>（オンライン・オンデマンド研修）

Stage B 「デジタルベーシックコース」（研修時間約2.5時間 / 10月8日より新設）

Stage 1 「デジタルリテラシーコース」（研修時間約2.5時間 / 改編）

Stage 2 「データ活用コース」（研修時間約6時間 / 改編）

Stage 3 「AIコース」（研修時間約4時間 / 改編）

Stage Bは高校生が学ぶ「情報I」に、Stage 1～3は「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」のカリキュラムに基づいて作成されており、デジタルに関して包括的に理解し、Z世代が高校・大学で学習する「情報」と同等の内容を学習することができます。また、オンライン・オンデマンドで単元毎に受講できますので、すきま時間に効率的に学習することが可能です。（図3）

従来は研修サイトからテキスト（PDF）をダウンロードして閲覧する形でしたが、10月8日よりテキストをブラウザ上で閲覧する形になります。これにより、PCのみならずスマートフォンでも快適に受講できるようになります。また、馴染みの無い用語の解説をワンクリックで表示する機能も追加します。（図4）

<デジタル中核人材の育成>（オフライン研修）

Stage 4 「地域課題解決コース（1）」「地域課題解決コース（2）」

Stage B～3 を修了した「自組織の課題解決に取り組む受講者グループ」をサポートする演習です。課題の難易度に合わせて 2 コース用意しています。

「地域課題解決コース（1）」では既存技術・既存サービスの組み合わせにより解決可能な課題を対象とし、北海道大学の大学院生が課題解決をサポートします。「地域課題解決コース（2）」では課題解決のために新規技術開発が必要な課題を対象とし、北海道大学の情報系の教員がコンサルティングを提供します。

【DREP ポータルサイト】

<https://drep.jp>

プログラム概要、研修コース、受講申込方法など詳細をご覧ください。

<https://drep.jp/interview/>

受講者へのインタビューをご覧ください。

<https://drep.jp/organization/>

主な受講企業・団体の一覧をご覧ください。

【DREP 提供期間】

2024 年 10 月 1 日～2028 年 2 月 29 日まで

受講をご希望の企業・団体は、メールにて DREP 事務局までお問い合わせください。

メールアドレス：drep_kenshu@dred.hokudai.ac.jp

お問い合わせ先

北海道大学総合イノベーション創発機構データ駆動型融合研究創発拠点 DREP 事務局

T E L 011-706-7255 メール drep_kenshu@dred.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

【参考図】

2025/9/30現在

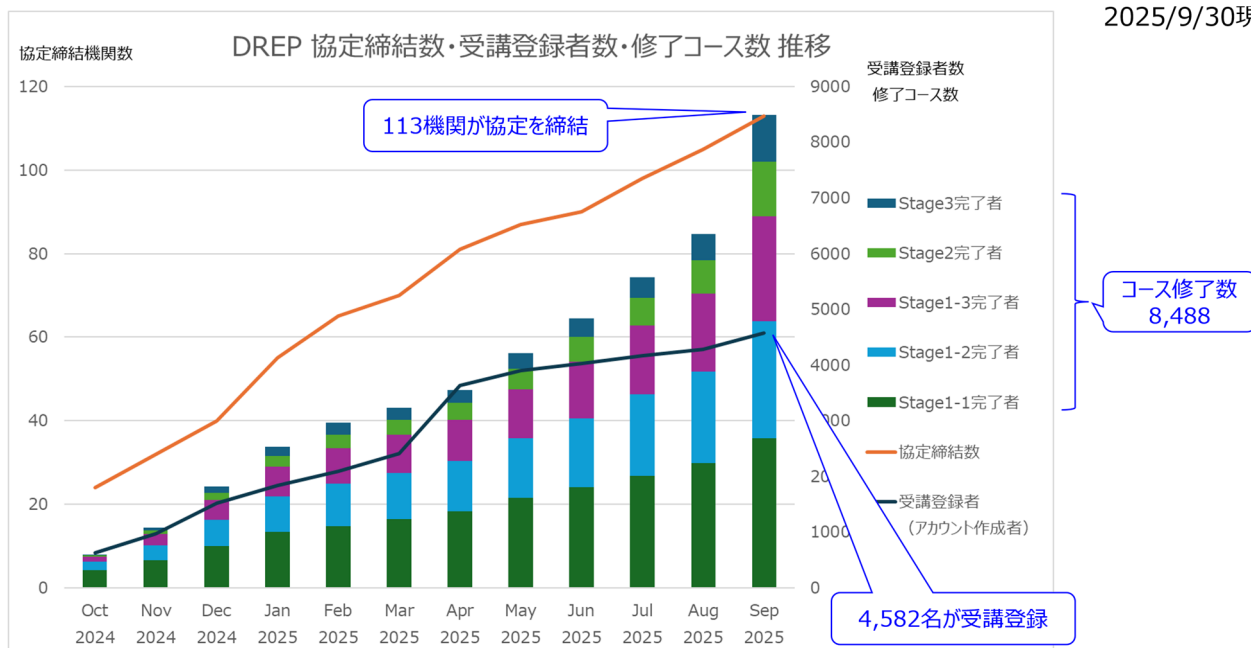
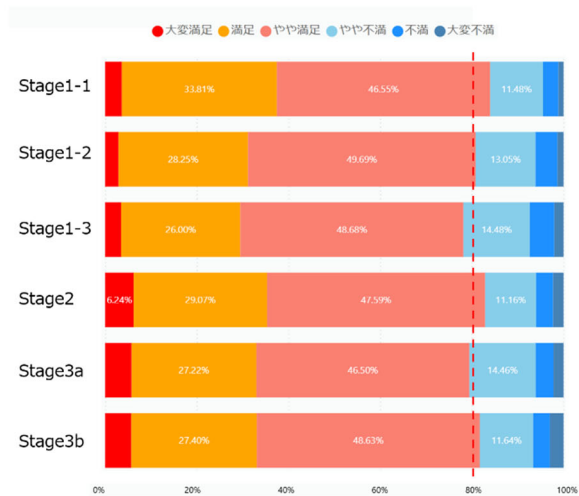


図 1. DREP 協定締結数・受講登録者数・修了コース数

アンケート結果（満足度/新しい知見）

*2024/10/1~2025/9/30のアンケート結果を集計

・およそ80%の受講生が「満足」と回答



・およそ85%の受講生が「新しい知見を得た」と回答

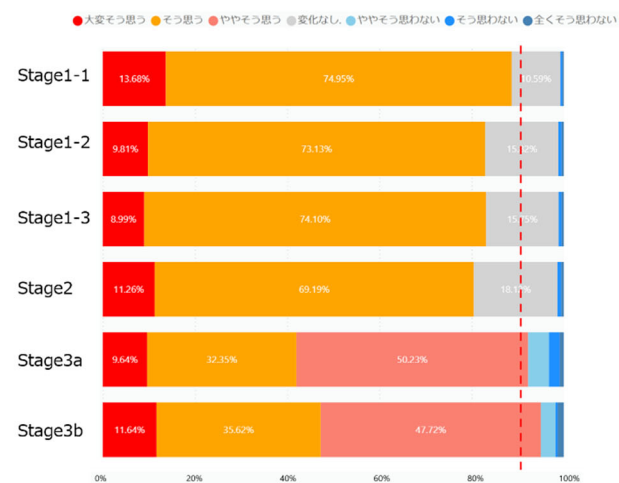


図 2. アンケート結果

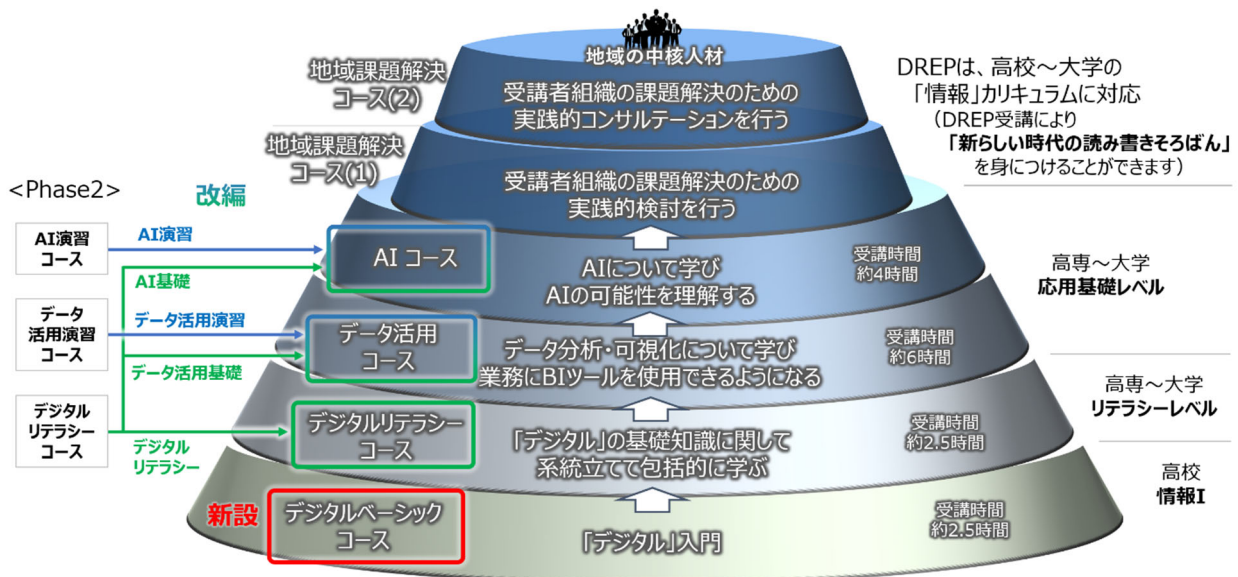


図 3. Phase3 研修コンテンツ（Phase2 からの変化）



図 4. Phase3 研修インターフェース